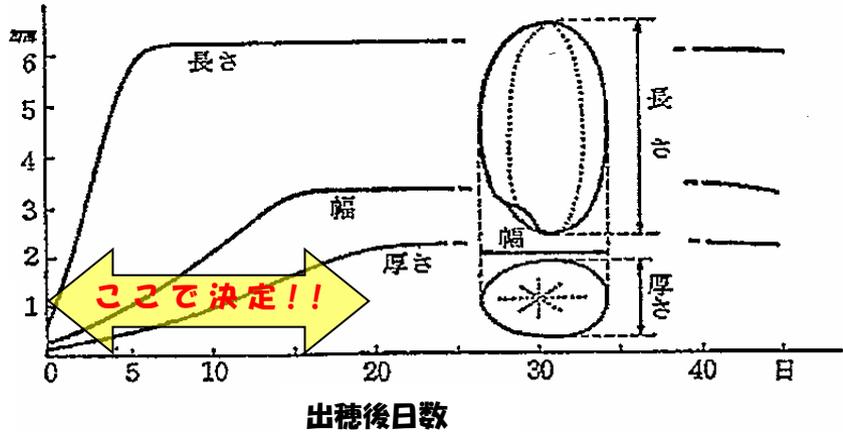


出穂後の通水管理で登熟向上を目指そう!!

玄米外形の発達

- (出穂後 5日) 玄米の**長さ**が決定!
- (出穂後 15日) 玄米の**幅**が決定!
- (出穂後 20日) 玄米の**厚さ**が決定!



登熟の必須要素

- ★日射量 養分やデンプンを生成
- ★気温 20℃～25℃がベスト! 高すぎると稲自身の消耗が増える
- ★土壌養分 N(窒素)だけでなく、K(カリ)も登熟向上に必要
- ★灌水量

出穂期以降の人為的な管理はムスカシイ...

上図のように、出穂後 20 日間は特に要注意!!

今からできること
それは...

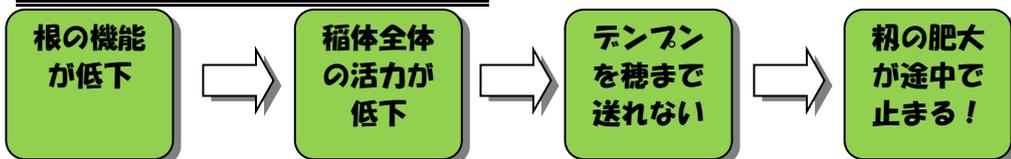
稲は1日5トン
(10a あたい)
もの水を必要
とします!!

こまめな通水管理で

乳白粒・胴割粒を防止しよう!!

- 収穫 5 日前まで、間断通水を行いましょう。
- 3 日おきの間断通水で田面を乾かさなことが重要です。
- 水はけの悪い圃場では常時湛水は避けて下さい。
- 当面気温が高く推移する予報が出ています。通水はなるべく水温の低い夜間に行い、稲体の消耗を抑えましよう。
- 台風の接近時にはフェーン現象時には、事前に入水して下さい。

落水が早すぎると...



収量・品質
の低下を
招く!!

いもち病の発生に注意!!

- 石川県内で『葉いもち』の発生が確認されています。
- 「葉いもち」が発生すると「穂いもち」の発生に繋がり、どちらに感染しても、

品質・収量の低下に繋がります！



① こまめにほ場を見回りし、早期発見に努めましょう！

- 常発地や葉色の濃いほ場を重点に見回りしてください。
- 予防剤を施用していないほ場や、いもち病に弱い品種は、特に注意が必要です。
※ 特に注意を要する品種：ゆめみつほ、コシヒカリ、ひやくまん穀

② 葉いもちを確認したら、ただちに防除しましょう！

- 周辺ほ場の発生状況も確認し、広範囲に発生している場合は、地域ぐるみで防除してください。
- ずり込み症状を呈するほ場では、4～5日後に薬剤の再散布を行ってください。

ブラシン粉剤DL	4kg/10a	使用時期：収穫7日前まで 成分数：2成分 使用回数：2回以内 ※ 特別栽培等の場合は、農薬の成分及び回数にご注意ください。
----------	---------	--

※ 梅雨の晴れ間を見計らい、散布後3～4時間の無降雨が続くタイミングで散布

③ 葉いもち発生の有無に関わらず、基幹防除を徹底しましょう！

※ 「斑点米カメムシ」にも注意!!!

石川県内全域において、斑点米カメムシの多発注意報が発表されております。今後も気温は高くなることが見込まれており、カメムシ類の増殖・活動が活発になると推測されます。

防除の徹底で品質低下（斑点米）を防止しましょう！

【カメムシ防除に特化した防除時期】

- 1回目防除：出穂7～10日後
- 2回目防除：1回目防除の7日後（出穂14～17日後）